

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 中国語学中国文学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2024年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・一般選抜) 問題

専門科目 (中国語学中国文学 専攻分野)

1、次の文章は、南宋・劉克莊『後村詩話続集』巻三から取ったものである。問題文の左側に、現代仮名遣いによる書き下し文と現代日本語訳を、それぞれ記しなさい。なお、問題文は1頁から3頁までである。

《揚雄集》六卷、四十二篇、《劇秦美新》之作在焉。《法言》末云：「自周公以來，未有安漢公之懿。」又曰：「其勤勞則過於阿衡。」此時莽猶未篡，此語不過如今人稱頌權貴人功德耳。

及莽

既篡，雄縱不能如許由洗耳、魯連蹈海，然與龔勝同時，莽使使者以印綬強起勝，勝稱病篤，卧，以手推去印綬。勝兩子及門人進說云云，勝曰：「吾受漢家厚恩，今年老，且暮入地，豈以一身事二姓下見故君乎？」不食而死。雄亦仕漢者，莽篡不能去，視勝可愧死矣！

美新之篇，方且盛稱

「皇帝陛下配五帝，冠三王，開闢以來未聞，宜命賢哲作帝典一篇，襲舊二爲三，以示罔極。」又自言「有顛胸病，恐先犬馬填溝壑，長恨黃泉」，故作此篇以獻。余以爲寧顛胸病死，此文豈可作哉！朱氏書「莽大夫揚雄卒」，書其罪矣。而昌黎公、荆公、涑水公皆推重，或以配孟子，何也？

11. 次の三項について、それぞれ二百字程度で解説しなさい。

①毛詩正義

②唐宋八大家

③袁枚

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

